

ゆうかり放送委員会提供
ゆうかりに乾杯
 第118回放送の概要 (2017年2月25日放送)

パーソナリティ
 たろう
 (佃 由晃)
 なか
 (中嶋邦弘)
 かりん
 (妹尾優香)
 あな
 (岸本幸恵)



ミキサー
 門ちゃん
 (門田成延)

会計
 小山俊則

相談役
 わだかん
 (和田幹司)

**1. ゲストコーナー(1) 兵庫高校創造科学科 1年生 村尾尚哉さん、星住晟太さん、
 太田淳平さん、畑中先生**

星住さんの部活は山岳部、村尾さんは弦楽部でヴァイオリンを担当、ESS部にも所属、太田さんは水泳部で背泳ぎとクロールが得意。

兵庫高校創造科学科は平成28年度に誕生し、ゲストの生徒さんは1期生になる。元は平成22年度から始まった総合科学類型が未来創造コースに変わり、このたび普通科とはカリキュラムの異なる創造科学科として独立した。他の県立高校においても、類型、コース、学科など、学校に応じた取り組みがされている。

平成28年度創造科学科誕生! ~未来社会を創造するグローバルリーダーへ~

文理の枠を超えた学びを通じて、
 複雑で正解のないグローバルな問題の解決に主体的に挑戦しよう!

創造科学科の目指す「未来の創造者」

地球規模の環境問題、資源・エネルギー問題、感染症の拡大、紛争の頻発など、現代社会には道筋の見えないグローバルな課題が山積しています。

創造科学科では、文理の枠を超えて社会科学と自然科学を主体的に学び、日本そして世界が直面しているさまざまな課題に向き合い、未来社会を創造していくグローバルな視野を持った「未来の創造者」を育成します。

「未来の創造者」に必要な力

- **社会創造力** 社会に貢献する志、信頼関係を構築する力や企画力・行動力
- **科学的思考力** 最先端の科学について探究することで、論理的に物事を解決する思考力
- **複眼的思考力** 国際的な視野を持ち、さまざまな角度から物事を柔軟に考える力
- **自律的活動力** 何事にも積極的に取り組み、自己のキャリアを設計していく活動力

創造科学科の特徴は、27年度に文部科学省のSGH（Super Global High School）の指定を受け、創造という名の教科を設定し、様々な講師に来ていただき、英語による授業、プレゼンテーション、地域・国際的問題を自分達で取り上げ、班別に研究を行い、発表し、論文を作成するなどの教科が設けられている。

文部科学省はSGHプログラムの前に、理系のSSH（Super Science High School）プログラムがあり、平成26年度より文系のSGHプログラムが始まった。国の支援を受け、兵庫高校は高大連携に力を入れている。高校生が大学の研究室、大学教授と連携を取り、指導を受けながら様々な研究活動に取り組むようにしている。これは他校にはない兵庫高校の大きな特徴で、未来の社会を創造するグローバルリーダーの育成を目指している。

先日、元外務事務次官、藪中三十二氏の「グローバル人材育成」の講義を受けた。生徒の感想は、これまで日中、日米間交渉等で功績を残されており、話に説得力があり、これまでの講義とは違う雰囲気があった。日本の抱える外交問題、大統領ではなく社長として行動するトランプさんについては、どのようにすれば心をつかめるかなどのお話を伺った。普通はお話を聴く機会は考えられない方から講義を聴けるSGHプログラムは素晴らしい。

I 科目「創造基礎」「RRE」・・・1年生で学習

▶ 創造基礎A

「ローカル・ナショナル・グローバル」な社会問題を取り上げ、考察します。講義だけでなく、ディスカッションやプレゼンテーションの機会を多く設けます。

▶ 「RRE」(Research and Report in English)

英語による資料読解、レポート作成、プレゼンテーション、留学生とのワークショップなど、総合的な英語運用能力を高めながら、国際社会に貢献しようとする志を養います。

〈連携予定機関〉 大阪大学国際教育交流センター

▶ 創造基礎B

社会科学、自然科学両分野の諸問題に目を向け、グループ研究を行います。フィールドワークや実験・実習、ディスカッションやプレゼンテーションなど、“アクティブな活動”を重視します。

研究テーマ
(予定)

「震災後の創造的復興」
「人工構造物と生物多様性の保全」
「都市環境の変化と健康格差」等

〈連携予定機関〉

神戸市役所、JICA関西、WHO(世界保健機関)、
神戸大学大学院人間発達環境学研究所 等



兵庫高校入学前に創造科学科を選択した理由について、星住さんは兄が総合科学類型の3期生で、毎日忙しそうにしており、何故と聞くと外国の人と交流している、発表の準備をしていると言うのを聞き、かっこいいと思った。村尾さんは、将来外国で仕事をしたいと思い、兵庫高校は家からも近く、自分にとって都合の良い学科が出来たと思った。太田さんは創造科学科は色々な事が出来ること、オープンハイスクールで在校生が楽しそうに発表していたことから、入学すれば忙しいが楽しく勉強が出来ると思った。

前期の社会科学分野の活動（グループ研究）について、星住さんのテーマは「多文化共生のための地域活動の研究」で、きっかけは長田区民アンケートで長田区の異文化理解が進んでない事を知り、多文化共生を多くの人に知ってもらうために取り組んだ。鉄人化まつりで色々な国のソースを使った出店を計画している。多文化共生については、班内で話したり、FMわいわいの金千秋さんから話を聞いて勉強した。金千秋さんからは、異文化理解という言葉は自分の国と他の国を分けて考えている、多文化共生は文化は違っても国ではなく、同じ人として考えて共に生きて行く事と学んだ。

村尾さんは、新長田六間道商店街にある「r3」というフリースペースの合田さんと協力し、近くに介護施設「ハッピーの家ろっけん」がオープンするので、その施設の看板を作る事を計画している。当初、ペットボトルでランプを作ることから始まり、次に砂絵で鉄人28号を作る事を考えた。試作品をフリースペースのオーナーの合田さんに見てもらった時、介護施設のオーナー首藤さんと出会い、作品を介護施設においてもいいと言ってもらえ、看板制作に発展した。看板は、家庭で捨ててしまうような物を使って、インパクトのあるものを作りたい。出来れば地域の子供達と一緒に作りたい。

太田さんは、村尾さんと同じ班で活動している。他の班の活動にも実践活動として参加出来るので、長田ソースを広める活動に参加した。新長田の「こなもんまつり」で長田ソースと、牛すじを使った焼おにぎりを作り販売した。お客さんの反応はとてもよく飛ぶように売れた。

去年は、長田区の動画コンテストで最優秀賞をもらっているが、今年は動画は作成したが音楽の著作権があるため、コンテストには応募できなかった。Youtubeにはアップしているので是非ご覧ください。

「駒ヶ林で恋ダンス踊ってみた」 https://www.youtube.com/watch?v=y8LRORkuq_I

2. ミュージック：東北と神戸をつなぐ歌「わすれないよ」

作詞：多聞東中学校 41 回生 作曲：PASSION OGURA この曲は「音楽事務所オフィス魂(KON)」さまのご厚意でお送り致します。

3. ゲストコーナー（2）

社会科学分野や自然科学分野の取り組み経験から、苦労した事、良かった事を聞きました。

村尾さんは、やるべき事が沢山あり、時間が足りなかった。フィールドワークと発表の原稿作り、RRE発表、部活などで大変だった。疲れたが充実した気分を実感した。星住さんもやりくりしながら忙しい

毎日を過ごした。創造科学科の科目「創造基礎」のRREは、(Research and Report in English) 英語の授業で、資料を読んだりスライドを作成しプレゼンをするもので、兵庫教育大学の海外からの留学生と毎学期末に交流を持ち発表した。生徒は交流するための準備に苦労している。



RRE：海外からの留学生との交流

後期は自然科学分野の研究があり、神戸大学発達科学部の院生が学校に来て自分のテーマを説明し、班ごとに興味を持ったテーマを選択し、院生の指導を受けながら研究を進めた。

太田さんの班のテーマは、「月の地表の年代測定～クレーターカウンティングを用いて～」というもので、月のクレーターを数えて出来た順番を探るもので、地道な作業で大変だった。

村尾さんの班のテーマは、「環境DNAを用いた外来種の有無の研究～オオクチバスとブルーギルの場合～」という環境をDNAで調査する方法で、川の水を調べることで住んでいる魚を調査するものです。この方法で住吉川と新湊川を調査した結果、北アメリカ原産、特定外来生物のオオクチバス（ブラックバス）とブルーギルの存在が判明した。

星住さんの班のテーマは、「光合成酵素 RuBisCO の環境による働きの違い～日本と砂漠～」で、砂漠のサボテンそして日本の松とヨモギのルビスコの量の違いを調べた。得られた結果では、松とヨモギは変わらないが、サボテンは水が少ないためルビスコの量は多いと予想していたが、サボテンが一番少なかった。サボテンのルビスコを測った時に、たんぱく質を遠心分離器にかけ、電気泳動を行うことで酵素の種類分けをしたが、その時、松、ヨモギでは見られなかった酵素がサボテンにはあり、それが光合成を促進していると考えた。

前期後期の取り組みで良かった事は、太田さんは、社会科学分野で出会った大人の社会人であるr3の合田さんからは、新鮮で、社会に出た時に役立つものを感じた。合田さんは建築以外にデザインもされているので、広告を細くして色のコントラストで絵を描いたり、板にくぎを打ちそれでr3の文字を作ったりしていた。自分では考えつかない事を学ぶことが出来た。自然科学分野ではデータをしっかり確認する事が大事であることを学んだ。

村尾さんも太田さんと同じ班で活動し、創造科学科に入ったお陰で合田さんという普段出会わない大人に出会い、大きな刺激を受けた。

星住さんは多くの大人と話が出来、社会科学では、多文化共生のお祭りで出会った外国の人と話をし、日本語のわからない人もいたので、言葉が殆どわからずどのようにすれば伝わるかを真剣に考え、ジェスチャーを交えた結果、コミュニケーション能力が上がったように思った。これはフェスタ・ペルアナとい

うちりのお祭り、深江の多文化フェスティバルなどで経験した。深江の時は、モンゴル伝統料理の販売手伝いをした。

創造科学科の1年生は創造基礎という科目で、RRE、創造基礎A、創造基礎Bという3科目で、2年生になると創造応用に発展し、文系と理系に別れ、文系は国際問題を扱うことが多くなる。理系の自然科学分野は数学、物理、化学などの中から興味あるテーマを選び研究活動を進める。1年生は40名で、2年生になると文系は12名、理系は28名に別れる。40名と一緒に授業を受けるのは国語と英語くらいになる。例えば2年生の数学は、高校ではあまり扱わない統計を学び、社会に潜んでいる関係性を調べることになる。これも高大連携で、神大発達科学部の先生に来ていただき、指導を受けながら進めることになる。



ベトナム研修旅行（2年生）

今年の高校生鉄人化まつりは、3月25日（土）に新長田駅前の鉄人広場で開催されます。参加校は、兵庫、夢野台、村野工業、育英、長田、神戸常盤女子、神戸野田の7高です。テーマは「僕らの長田ものがたり～自分達高校生の作りあげるまつり」です。今年の実行委員会委員長は6年間兵庫高校であったが今年には育英高校に変わり、兵庫高校のまつりから長田のまつりが定着します。開催時間は11時～16時です。兵庫、育英、野田が出店し、兵庫は唐揚げと石巻焼そばを提供します。ステージでは各高校のパフォーマンスがあり、兵庫は、ダンス、ギターアンサンブル、吹奏楽、弦楽、書道の出し物があります。



ダンス部（2016年）



書道部（2016年）

4. こぼれた話こぼれなかった話：近く学校の教科・科目が変わります

最近の社会の変化が激しく、学校教育もこれらに併せて次々と改革されて行きます。この度、文部科学省の中教審（中央教育審議会）が学習指導要領を早期に改革するよう文部科学大臣に答申しました。

主な改革変更の内容は、

1. 高校では18歳以上への選挙権年齢の引き上げを受けて、公民部門に必須科目として「公共」が新設されます。政治参加や労働問題なども取り上げられます。

また、この主権者教育は学校教育の重要な要素の一つとして、小中学校からでも、地域の身近な課題を知り、解決に向けて考えるよう指導することが求められています。

2. 外国語部門では、日本人の英語能力向上を目指して小学英語を導入。5、6年生で英語を教科となります。また、中学校では、英語の授業は原則英語で行われることとなります。しかも、社会的な話題にまで範囲を広げて自分の考えや気持ちを伝え合えるように、感嘆文や仮定法も取り入れ、英単語数も増やします。

兵庫県では、今年4月から「生きた英語」をめざして、英語が得意な地域の人を募り、小学校に配置して先生を補助してもらい取り組みを始めて、3年間で全小学校で実施したい、としています。

3. 地理歴史部門では、日本と世界の近現代史が中心の「歴史総合」科目、国際理解や防災などを扱う「地理総合」科目が必須科目となります。

4. 国語部門では、「現代の国語」「言語文化」が必須科目となります。

5. 日本国領土のこともしっかりと教える。

一部、学校の判断で先行実施をできるとしてはいますが、全面実施は、小学校が2020年度、中学校が2021年度、高校は2022年度の新入生から学年ごとに順次実施される予定です。2020年度からは、大学入試もセンター試験に替わる新テストが導入されるなど、ここ4、5年のうちに大々的に改善されます。

ゲストに来ていただいた兵庫高校の創造科学科、未来創造コースで実践しているような教育方針が、小学校から順次とりいれられて行くような印象ですね。

5. 地域瓦版

兵庫高校OB吹奏楽団、第29回定期演奏会が3月20日(月)13時開場、13時30分開演、神戸芸術センターで開催されます。

入場料1000円、前売り800円です。

**兵庫高校OB吹奏楽団
第29回定期演奏会**

John Williams
スターウォーズ・コンサート・セレクション 指揮 / 竹本 亮哉

Gustav Holst
組曲「惑星」より木星 指揮 / 磯崎 良一

～スタジオジブリの世界～
(兵庫高校吹奏楽部による合唱との合同演奏) 指揮 / 伊野 達雄

Ottorino Respighi
シバの女王 ベルキス 指揮 / 谷口 昌弘

他

入場料 1,000円
(前売800円)

賛助出演 兵庫県立兵庫高等学校吹奏楽部

2017年3月20日(月・祝)
13:00 OPEN / 13:30 START

神戸芸術センター 芸術劇場
(新神戸駅より徒歩5分)

[E-mail] office@hyogobrass.jp [URL] http://hyogobrass.jp/
[後援] 神戸市 神戸市教育委員会 兵庫県吹奏楽連盟 神戸市吹奏楽連盟

ゆうかりに乾杯の過去の放送音声と文書化した放送概要は、下記URLで視聴いただけます。

<http://yukari.hyogo.jp/>